



深沢区では今年度「深沢獅子踊り」の獅子頭の羽根を新調し、そのお披露目を10月25日におこないました。

7頭の獅子と鐘打ち、お囃子が区内を練り歩き、沿道などで区民が見守る中、力強い踊りを披露しました。

郷土が誇る 獅子踊り

南無阿弥陀佛



特集

中世の山城 左沢楯山城

令和2年

11

No. 717

中世の山城

左沢楯山城



国の史跡指定と整備方針

左沢楯山城は寒河江大江氏の一族、左沢元時により14世紀半ばに築かれ、領主が最上氏、酒井氏の時代を経て、17世紀前半に廃城となったとされる山城です。

最上川を眼下に見下ろす大規模な山城の跡は、平成21年2月に国の史跡に指定されています。この城跡の規模は東西1700m、南北800mと西村山地域でも突出した規模を誇ります。

平成24年に町では『町の宝として、左沢楯山城が現す歴史から学び、未来へ向けたまちづくりへ資する』ことを整備方針とする構想をまとめました。さらに平成29年には、城跡の構造が体感できるようにすることを目標に掲げ、「史跡左沢楯山城跡第1期保存整備計画」を策定しました。現在は、この構想と計画をもとに、地形を眺めながら散策できるように、城跡内の遊歩道や広場の造成、木の伐採などの整備工事を進めています。今月号では、実際に城跡を歩きながら、左沢楯山城がどのような城であったかを考えます。今回は大江町観光ボランティアの会会長の石川博資さんに案内していただきます。

江戸		戦国・安土桃山		南北朝・室町		鎌倉			
左沢楯山城									
酒井氏		最上氏		大江氏				西暦	
1624	1622	1603	1584	1368	1346 └ 1368	南北朝時代 1336 └	1180 └ 1192ころ		西暦
酒井直次が左沢の小漆川に新しい城を造り、左沢楯山城は廃城となる	酒井直次が改易となり、酒井直次を藩主とした左沢藩が成立する	徳川家康が江戸幕府を開く	最上氏の支配下に入る	寒河江城主大江高基が、山形の最上義光に攻められて敗れ、その後寒河江領は最上氏の支配下に入る	北朝方の斯波氏が南朝方の寒河江大江氏を攻める(漆川の戦い)	寒河江城主大江時茂の三男、左沢元時が左沢楯山城を築く	足利尊氏が室町幕府を、後醍醐天皇が南朝を開く	大江広元が寒河江荘(西村山一帯)を支配する	



▲多くの方が訪れている楯山公園。10月にも町外の小学生が修学旅行で訪れ、石川さんが案内しました



▲県の最上川ビューポイントに選定されている楯山公園からの眺め

地形を巧みに利用した城

左沢楯山城は自然の沢や崖を巧みに取り込んで構成されており、城を東西に横断する蛇沢（上図①）により、南北の丘陵に分かれています。

まずは、南側丘陵を進みます。ここには、県が指定する「最上川ビューポイント」として季節を問わず多くの方が訪れる「楯山公園」（上図②）があり、「千畳敷」（上図③）などの曲輪（急な崖の上などに人工的に造られた平らな場所）があります。

石川さんは「左沢は置賜地方から村山地方への重要な交通路にあり、楯山は最上川を見渡すのに絶好の場所です。楯山は川と交通の大切な場所を押さえられる位置にあります」といい、「この城には石垣はなく、急な斜面が城壁となっていたと考えられます。また城内には今のようには木々はなく、最上川周辺から見上げ



▲石川博資さん(葛沢)



▲寺屋敷検出遺構
(大型建物跡と池状の石組)



▲楯山の北側・東側の
檜木沢の深い谷



◀▲尾根を断ち切る
「堀切」。ここから攻め込もうとすると両側から攻撃を受けることとなります

曲輪(くるわ):お城のなかで土塁や堀(楯山では主に切岸)に囲まれた平らな場所。
切岸(きりぎし):人が斜面をけずってつくった急なガケ、敵の侵入を防ぐ。
堀切(ほりきり):お城へ敵が侵入するのを防ぐために人が掘った溝。

■左沢楯山城跡の陰陽図

ると、急な崖の上にある大きな山城は畏れられたと思いますよ」と話します。

「領主などは、普段ふもとの元屋敷地域に住み、戦になった時に逃げ込んで戦えるように造られた城と考えられています。ふもとの登城路は、堀切(図上④)から南側にあった曲輪をつたっていく道であったと考えられています。守り戦う城と考えると、大きな道で簡単に登城できる通路ではなかったのかもしれない。」

ふもとから攻め込もうとする敵には、頭上や登城路の両側から攻撃を与えられる。そんな堅固な要塞であったことが想像されます。

領主の力を感じる中核部

楯山公園の西にある階段を上がり曲輪を通って北へ進み、城の中核部へ向かいます。これらの通路は第一期保存整備計画で整備されました。この道には西山杉の皮を使用した舗装が施されており、石川さんは「遊歩道が整備されたことでとても歩きやすくなりましたね」といいます。

城の北側丘陵では多くの建物跡などが見つかっており、城の中核部であったと考えられています。「中

世の城である左沢楯山城には、高くそびえる天守閣(戦国時代以降の城に建てられた象徴的な建造物)はありませんが、城の中核部分であった『ゴホンマル』(上図⑤)には、格式の高い建物跡が見つかりました。また、そのすぐ南側の谷では中国の焼き物など様々な遺物が見つかります。」

さらにゴホンマルの北、楯山の山頂『八幡座』(上図⑥)には、約4m四方の檜の跡が見つかっており、物見として使われたと考えられています。石川さんは「八幡座はその地名から宗教施設があったという説もあるんですよ」といいます。

また城の東側には、城内最大の曲輪『寺屋敷』(上図⑦)があり、発掘調査で2棟の大型建物跡や池状の石組遺構などが見つかっています。

寺屋敷の東側の檜木沢の向こう側には当時の住民などが往来した街道があったといわれています。この街道を歩く人々は、谷の上にある寺屋敷の大きな建物と尾根沿いに広がる壮大な城の風景を見ていたのでしょうか。

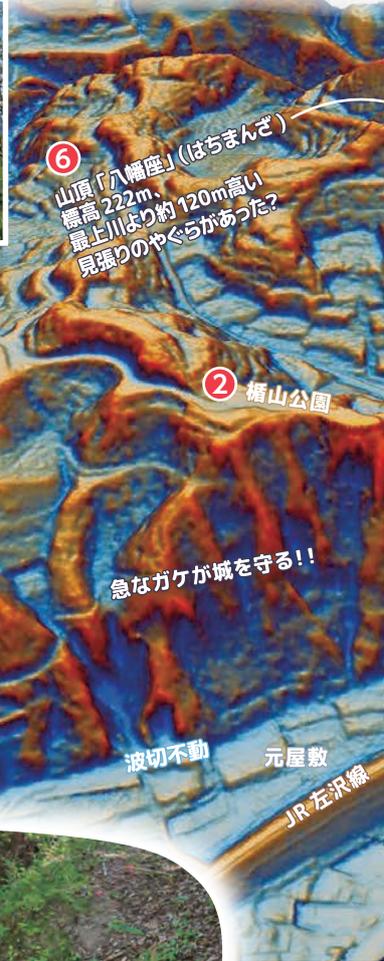
「野」の「城」の楯山

左沢楯山城は、国史跡に指定され

八幡座では柱穴の真上に柱を設置し、同じ大きさで櫓の跡を表示しています



▲ゴホンマル西側の曲輪からは月山・葉山などを望むことができます



⑥ 山頂「八幡座」(はちまんざ) 山頂 222m、標高 222m、最上川より約120m高い見張りのやぐらがあった?

② 楯山公園

朝日少年自然の家

急なガケが城を守る!!

波切不動

元屋敷

JR 左沢線



◀ゴホンマル周辺は曲輪の形がよく見えると説明する石川さん

ゴホンマル調査の様子。柱の穴の跡が見えます



▲未整備区間。ピンクの目印の杭の間に通路を整備する予定です



▲ゴホンマル南側の谷で見つかった、天目茶碗などの遺物



▲ゴホンマル西側の曲輪。山の岩盤を削って、その時出た石を盛り平らな場所などをつかったことがわかりました



▲第1期整備計画により整備された通路

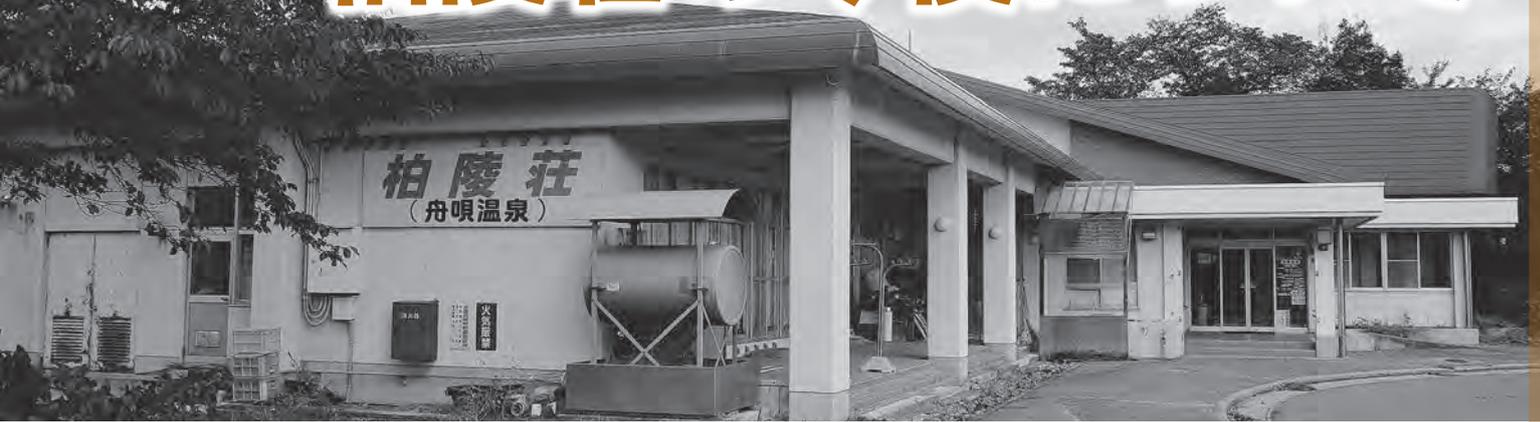
際に「村山地方を代表する中世から江戸時代前期にかけての城跡で、切岸や堀切などの遺構も良好に残っている。村山地方の中世から近世に至る動向を知るうえで貴重な城跡」という旨の説明がされています。石川さんは「左沢楯山城は南北朝時代には南朝と北朝、戦国時代には最上氏と伊達氏との前線基地として使われてきた重要な史跡と考えられます。しかし、まだまだ解明されていないことが多く、今後の更なる調査・研究が期待されます」と話します。

町では今後も、国の史跡として調査研究を進めながら、町の宝として整備・利活用を進めていく予定です。

先述の寺屋敷周辺に至る道は第2期整備を予定し、未整備区間です。「今後の整備により周遊できるようになると山城全体を感じられるようになり、視界を遮る木々の伐採などが進めば、山城の地形や眺望を楽しみながら歩くことができるようになると思います。そうすれば、より左沢楯山城を親しんでもらえるようになるのではないのでしょうか」と石川さんは語ります。

皆さんもこの歴史的に貴重な山城を、当時の様子を想像しながら散策してみてくださいいかがでしょうか。

柏陵荘の今後について



大江町老人福祉センター柏陵荘は昭和56年に大江町社会福祉協議会の施設として開設し、平成7年からは大江町産業振興公社（以下、公社）に管理運営が委託されました。その後、平成26年に社会福祉協議会から町へ施設が無償譲渡されたことを受け、同年4月からは公社が指定管理者に選定され、運営をおこなってきました。

気軽に利用できる憩いの場、安価な入浴料と効能の高い温泉が好評を博して、にぎわいをみせてきました。が、近年は、急激な人口減少に加え、近隣市町の同様施設との集客競争もあり、温泉利用客数は減少傾向にあります。昨年度の営業日一日当たりの利用者は、はじめて500人を割り込むなど、経営改善努力を重ねてきたものの大変厳しい状況で、売上利益から人件費などを含む経費を差し引いた営業損益は、平成26年以降毎年赤字を計上しています。

また、本施設は開設から39年が経過しており、露天風呂の大規模改修や給水給湯管敷設替工事など、度重なる機械設備の修繕や更新をおこないつながり運営してきました。その修繕費は平成26年から令和元年度まで、2700万円超となっております。

今後運営を継続するにあたっては、給油ボイラーの交換や屋根塗装・耐震化工事などさらに数千円単位の経費が見込まれます。

加えて今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月14日から休館となりました。本施設は脱衣室が手狭で、換気口がなく「新しい生活様式」で提唱されている3密状態を回避できないため、他の温泉施設が営業を再開した5月以降も引き続き休館を余儀なくされています。

柏陵荘は「老人福祉センター」として高齢者福祉と住民の健康増進に寄与する施設であることから、温泉の根強い愛好者があり、地元密着型の施設として、これまで運営を継続してきました。

しかし、これから想定される修繕費や感染症防止対策のための改修費など経費負担の増大と感染症拡大以降の人の流れの変化による利用者の減少を考慮すると、今後の経営面での損失と町の財政負担増加が懸念されます。結果として、町民生活に直結する福祉予算、医療関係予算などを削減せざるを得ない事態となることとが危惧されます。

柏陵荘に限らず、昭和60年代から平成初期に建設された数多くの公共



▲劣化が進み交換が必要なボイラー

施設が同時に大規模修繕が必要な時期を迎えており、国・県補助金などの財源確保が見込めない中において、今後の財政運営上の大きな課題となっております。

このため、町の現状と将来を見据えた場合、公共施設の整理統合と廃止は避けられず、問題を先送りすることは好ましくありません。今回の休館を契機に柏陵荘の今後のあり方について多方面から検討を重ねてきました。が、入浴者数全体としては健康温泉館での受入が可能であること、そして温泉施設以外の部分については引き続き利用が図られるのではなかの結論に至りました。

これまで永年にわたってご愛顧いただいた町民の皆さまには誠に心苦しく思います。が、苦渋の選択として柏陵荘の温泉施設部分は廃止の方向で検討せざるを得ないことについて、ご理解を賜りますようお願いいたします。

「柏陵荘」の現状

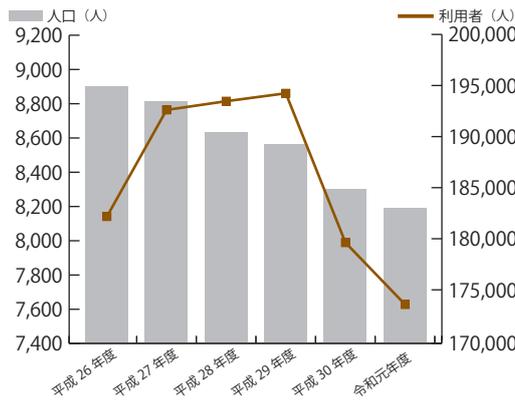
【運営】 平成26年から大江町産業振興公社が指定管理

【利用者】 令和元年度 172,677人（前年比▲14,303人）

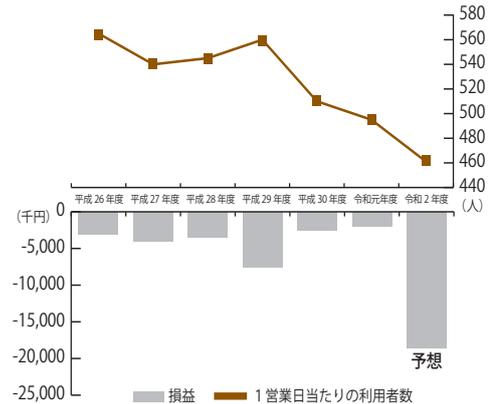
【経営状況】 ・人口減少に伴う利用客数の減少などにより、毎年の営業赤字（柏陵荘単独での営業損益）
・老朽化による、建物・設備などの多額の修繕費（町が負担）

【主な事業】 いきいき貯筋教室、福祉バス運行事業、生きがい教室

町の人口と 柏陵荘の利用者数の推移



柏陵荘の経営状況と1営業日当たりの利用者数



※令和2年度は4/1～4/13間の1営業日当たりの利用者数

※令和2年度の損益は年間での予想

新型コロナウイルス感染症拡大…休館（脱衣室の3密回避などのため）

課題…新型コロナウイルス感染症拡大による消費意欲の減退（利用者の減少）
「新しい生活様式」に対応した建物への改修
給油ボイラーの交換などの老朽化への対応

今後の利用方針

- 赤字経営の現状や町の財政状況を考慮し、温泉施設については廃止の方向で検討
- 温泉施設以外の大広間、和室などは、介護予防事業など高齢者の健康増進・教養の向上およびレクリエーションのための施設として当面の間維持

温泉施設廃止検討の理由

- 建物やボイラーなどの修繕・改修費が今後ともかさみ、町財政負担が大きくなるため。
- 人口減少により、温泉利用者の増加は見込めず、健康温泉館に機能を統合することで収益性を高める必要があるため。

大広間などを当面の間維持する理由

- 大広間は町施設で最大規模の和室であることなどから、介護予防事業や集会などでの利用が期待できるため。

左沢地区区長会要望会を開催

左沢地区区長会による町への要望書が提出されたことを受けて、その内容に対する回答をおこなう要望会が10月14日に中央公民館でおこなわれました。

要望書は水害対策や医師の確保、歩道の整備、空き家対策、地域公共交通など、住民の暮らしに密接に関わる内容となっています。この日は、今年度も豪雨による甚大な被害があったことから、水害対策について多数の意見が出されました。

町ではこれらの内容について、可能なものは実現に向け取り組んでいく旨を回答しました。



▲左沢地区の区長が集まり意見交換をしました

盾と焼きごての贈呈

村山産業高等学校（青柳晴雄校長）の3年生より、課題研究の授業で製作した、町章が刻印された木製の盾と真ちゅう製の焼きごてを贈呈していただきました。

焼きごてはCAD・CAM（コンピューターを利用した設計・製造システム）でプログラムを作成し、工作機械で加工するなど、製作には約3か月かかったそうです。製作者の一人の板垣未来さんは「初めてCAD・CAMを使用したので、慣れるまで時間がかかりました」と話してくれました。盾は町長室入口に飾らせていただいています。



▲町長に盾と焼きごてを贈呈する村山産業高校生

あま～いすももをいただきます

さがえ西村山すもも部会（渡辺誠一部会長・塩野平）から学校給食へすももが提供され、10月5日に本郷東小学校で贈呈式がおこなわれました。

今回提供された品種は「サンルージュ」で、町内小中学校に合計596個が贈られました。

2年生の鈴木希実さん（顔好）と1年生の美濃谷佳歩さん（望山）が代表してすももを受け取りました。すももを食べた1年生の須貝紗保（美郷）さんは「初めて食べました。真っ赤で、食べたら酸っぱさと甘みがおいしいです」と話してくれました。



▲渡辺部会長（右）からすももを受け取る鈴木さん（中央）と美濃谷さん（左）

ぴかっと光って交通事故防止

大江町交通安全母の会では、高齢者交通事故防止活動として、高齢者世帯訪問による交通安全指導と交通安全教室を毎年おこなっています。

今年度は小見区と月が丘区を重点地区としており、交通安全母の会役員が、10月22日に月が丘区の75歳以上の高齢者世帯約20戸を訪問し、靴やバックなどへの反射シールの貼付や夜光反射材のリストバンドの配布をおこないました。同行した伊藤利美区長は「日没が早くなったので、夜光反射材などを積極的に使って交通事故防止に努めてほしい」と話していました。



▲高齢者世帯を訪問し、靴に反射シールを貼るなどしました

3歳児

サン サン スマイル
Sun!Sun!Smile!

10月2日に3歳児健診を受けた元気なちびっ子たちを紹介します！（順不同）



鈴木 桜也くん
(美郷)



柏倉 惣右介くん
(堂屋敷)



菊地 葵ちゃん
(9区)



鈴木 健琉くん
(藤田)



荒木 玲くん
(蛍水)



池田 季介くん
(藤田)



林 侑弘くん
(諏訪原)



菊地 珈音くん
(下北山)



大滝 滯ちゃん
(13区)



小林 航大くん
(木の沢)



長岡 芽生ちゃん
(小見)



松田 菜佑ちゃん
(貫見)



工藤 勇莉くん
(荻野)





10/8 ラ・フランスの出荷に向けて

安全・安心「ラ・フランス」現地交流会が10月8日に小漆川地内のラ・フランス農園でおこなわれました。この交流会は、出荷前の残留農薬検査のためのサンプル採取を通して、安全で安心な農産物について理解を深めてもらおうと開かれているものです。

交流会には生産者や関係機関のほか、町食生活改善推進協議会役員が参加し、サンプルとなるラ・フランスを採取しました。その後、ラ・フランスの販売促進方法などについて意見交換がされました。



10/21 「外はカリッと」揚げパンづくり

放課後子ども教室「ニコニコクッキング（料理教室）」が中央公民館でおこなわれました。

この日は小学生12人が参加し、野木桃子さん（中沢口）を講師に揚げあんぱんづくりに挑戦。子どもたちは、ロールパンにあんこを詰めて、卵とパン粉を付け、子ども教室サポーター4人の方に油で揚げてもらいました。姉妹で参加した加藤六花さん（蛍水）は、「あんこをつめるのが難しかったけれど、がんばって作りました」と話し、野木さんは「学んだことを活かしておうちでもお手伝いしてください」と呼び掛けました。



10/10 最上川水害の現場を訪ねて

まち歩きを通して、町の歴史や文化、くらしを学ぶ「おらだの町探訪」の今年度第1回目が10月10日におこなわれました。

この日は「大江町の水害」をテーマに開催され、町内外から25名が参加しました。昭和42年の羽越水害時などの古い資料を見て、過去の被害を学ぶとともに、7月の水害で被災した、あてらざわ温泉湯元旅館の女将の柏倉京子さん（1区）の話を聞きました。柏倉さんは、当日の体験談や建物に残された水害の傷跡の説明をされ、参加者は真剣な表情で聞いていました。



10/17 手作りおもちゃでミニ運動会

子育て支援センター「ミニ運動会」が、10月17日ににじいろ保育園の遊戯室で開催されました。

この日は親子9組26名が参加し、親子で体操をした後、カラーボールを同じ色の箱に入れるゲームや、ペットボトルで作ったけん玉のゲームなどをしました。1・2歳児も親子や兄弟と一緒にゴールを目指しました。参加した田中秀穂くん（美郷）は「楽しかったです」と話してくれました。

雨模様のため、室内での開催となりましたが、子どもたちは会場内を元気いっぱい走るなど、笑顔あふれる、にぎやかな運動会となりました。



10/20・24 みんなの力で美しい町に

花植栽のボランティア活動が町内各地でおこなわれました。

10月20日には、町シルバー人材センター（佐藤和雄理事長・13区）の会員が集まり、野口沢農村公園の花壇にパンジーの花を植えました。

10月24日には、町観光ボランティアの会（石川博資会長・葛沢）の会員とボランティアが集まった方々が、緑の募金事業として、左沢駅前ロータリー脇の花壇にフウロ草などの花を植えました。

花を通して、美しいまち、美しい心を育てましょう。皆さんのご協力ありがとうございました。



10/5 「プクビエ」で疫病退散!!

町の中高生ボランティアサークル「夢憧布（ポケット）」のメンバーが、10月5日に中央公民館で新型コロナウイルス感染症の収束の願いを込めた木札を300枚製作しました。

この日は23人のメンバーが参加し、ヤマガタダイカイギュウをモチーフにしたキャラクター「プクちゃん」と疫病を払うと伝わる妖怪の「アマビエ」が合体した「プクビエ」などのゴム印を押した木札を製作しました。完成した木札は、今後無料で配布する予定です。



10/25 雨にも負けずナイスショット

大江パークゴルフ愛好会（箱崎正勝会長・12区）の第3回大江町長杯パークゴルフ大会が、10月25日に大山自然公園でおこなわれました。

この日は朝から小雨が降る天候でしたが、34名が参加し、優勝を目指して熱戦が繰り広げられました。

《町長杯結果》 ※地区、敬称略

★男性の部

優勝 渡辺 数吉
2位 渡辺 幸一
3位 室岡 吉雄

★女性の部

優勝 菊地 律子
2位 伊藤 昌子
3位 菊地みどり

コミュニティ助成事業で整備しました

一般財団法人自治総合センターでは、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目的に、宝くじの収入を財源として様々な社会貢献事業をおこなっています。今年度、本町では深沢区の事業が採択されました。



深沢区

深沢獅子踊り用の獅子頭羽根の整備をおこないました。区民総出で参加する秋まつりへの士気が高まり、今後もコミュニティ形成の向上が期待されます。

地域おこし協力隊通信

No.64



こんにちは。寒くなってきましたね。今年の冬は、どれくらい雪が積もるのでしょうか？私は雪国育ちではないので、今からちょっと不安です。

今回は、アテラで企画したワークショップについてご紹介します。「ATERAでハーブを楽しもう！」と題して講師の方をお招きし、ラベンダー石けん作り、ハーブティーの楽しみ方講座、蜜蜂を使ったハンドクリーム作りの全3回シリーズで開催しました。どの企画も好評で、参加者全員に楽しんでいただけました。

今年は新型コロナの影響で大きなイベントはできませんが、このような企画を今後も続けていきたいと思っています。皆さんぜひご参加ください！

地域おこし協力隊 太田さや香



↑蜜蜂を溶かしてハンドクリーム作り中

● 短歌 ●

それぞれに母の手繕ひのマスクして登校の児等朝露に消ゆ

柳川 次郎

最上川洪水跡は残りしも百目木の水面に水鳥集ふ

佐竹磨砂湖

塔のある介護施設を眺むとき入所のあの人かの人思ふ

山家 重之

スーパーの中の人皆マスクして食材二の次マスク売場へ

菊地つねよ

この日頃山に行くことなかりしと思ひ浮ぶは林中の径

佐竹 與鼓

中天に名月白くまんまるく人工衛星そばに従へ

齋藤 徳治

● 俳句 ●

後彼岸夜更けの月光美しき

鴨田富士夫

秋まつり祭事中止で月見酒

柳川 次郎

芒穂も淋しくなりし畑のすみ

齋藤 徳治

川田行くわが古里の美しき

山家 重之

長き夜の長尾上杉直江かな

熊谷 勉

勢ひを失せ行く棚田落水

舟山 三男

うづたかく土間に積み上ぐ今年米

伊藤 啓泉

吟遊浪漫

ぎんゆうろまん

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで役場総務課に作品をお寄せください。

教え子が印象に残る先生に

今野 凱斗さん (20歳・若原)

小学校などの教員を目指して、山形市内の大学に通う今野さん。「高校生の頃に剣道を小中学生と一緒に練習しているとき、子どもたちが成長する姿を見て、小学校の先生になりたいと思うようになりました」。

コロナ予防のため大学ではオンライン授業も経験。今は教員試験の勉強に取り組んでいる真っ最中でもあり、友人と気晴らし程度の運動しかできていないといい、「時間に余裕ができればドライブに行きたいですね」。

今年の夏には寒河江市内の小学校で教育実習をしました。子どもたちの“小さな変化にも気付けるようになるために”と、教育実習の1か月前から週1回程度その小学校にスクールサポーターとして学習支援に行きました。「子どもたちの可能性を引き伸ばし、背中を押してあげられる先生になりたいです」と力強く話してくれました。



教えて ハイスクール

NO.7

左沢高校の活動を紹介するコーナーです

広島市に投下された原爆で被爆したピアノを使ったコンサートが、10月16日に本校体育館で開催されました。所有者で調律師の矢川光則氏による本活動の経緯やピアノの説明とプロ演奏家と本校生徒による素晴らしい演奏を聴き、平和の尊さについて学びました。

本校の校庭の一角に植えている「アオギリ」は、16年前修学旅行で広島を訪問した本校生が「被爆アオギリ」の苗木を譲り受けたものです。この事実は今年度校庭の植物について調べた生物系の授業で判明しました。今や大きく育った「アオギリ」ですが、矢川さんの「被爆ピアノ」の活動もこの「アオギリ」の活動から始まっているとお聞きし、被爆した広島と左沢高校で開催されたコンサートの深い縁を感じたところです。

▲矢川光則さんの講演

▲被爆ピアノ

お知らせ

Information

『プレミアム付がんばれ大江商品券』
の使用期限が迫っています

商品券の使用期限は11月30日(月)までです。使い忘れないようにご注意ください。

☎政策推進課起業推進係

☎(62) 2139

「認知症初期集中支援事業」を
「活用ください」

認知症またはその疑いのある方と
そのご家族に対し専門職が早期に訪
問し集中的に関わります。ご本人へ
の支援の方向性を決定し、医療や介
護サービスにつなげご家族の負担を
軽減します。

◆対象となる方／40歳以上の在宅で
生活されている町民の方で、認知症
(または疑い)の症状でお困りの左
記に該当する方

○家族が本人に認知症疾患の診断を
受けさせたいが、受診を拒否してい
る。

○本人に医療や介護のサービスを受
けさせたいが結びつかない。

○本人の認知症による症状が強く家
族が支援、対応に困っている。

☎健康福祉課地域包括支援センター

☎(84) 1495

健診を受けましょう

令和2年度の町の健診は12月9日、
15日、23日、1月15日の人間ドック
で終了となります。まだ、申し込ん
でない方も間に合いますので、健
康福祉課保健衛生係までお申し込み
ください。また、次のような点にご
注意いただきながら、ぜひ健診を受
けてください。

◆推奨される受診間隔／「胃がん検
診」「乳がん検診」「子宮頸がん検診
」：2年に1回、「肺がん検診」「大腸
がん検診」：年1回

※町では2年に1回という制限を設
けておらず、毎年受けることも可能
です。

◆健診時間／健診内容が少ない方で
は30分、多い方でも3時間以内に終
了します

◆対象年齢／30歳以上

◆健診場所／総合健診センター（寒
河江市）

☎健康福祉課保健衛生係

☎(62) 2114

灯油などの購入費を 助成します



灯油などの燃料確保が
困難となっている世帯の
冬季の経済的負担を軽減
するため、今年度も暖房
用燃料費の一部を助成し
ます。昨年度から電気代
も対象としています。

◆対象世帯／町民税非課税で次のいずれかに該
当する世帯

○65歳以上の高齢者のみの世帯

○ひとり親などで18歳未満の児童を養育して
いる世帯

○重度の障害者がいる世帯

◆助成限度額／5,000円

◆申請期限／令和3年3月31日(水)

◆必要な書類／大江町冬の生活応援事業支援申
請書、令和2年11月1日以降に購入した灯油
などの領収書(※電気代で申請される場合は、
通常使用時の領収書も併せて提出してくださ
い)、印鑑、振込先口座の通帳の写し、障害
者世帯の場合は手帳などの写し

☎健康福祉課福祉係 ☎(62) 2285

介護予防のための

「健康維持教室」を開催しています

◆対象者／町内に住んでいる65歳以上の高齢者で、
入浴や着替え・排泄・歩行・車の乗り降りなど身
の回りの事が他の人の手助けなく、ひとりでできる方
※介護保険のデイサービス・デイケアを利用してい
る方は参加できません。

◆内容／自宅からの送迎、健康チェック、温泉入浴、
団らん、昼食、介護予防体操など

◆日時／各コースに定員がありますので、申し込み
時にご相談ください

【コース】①火曜日コース、②水曜日コース、③
木曜日コース、④金曜日コース

(いずれも原則第1火・水・木・金曜日・祝日・
お盆・年末年始を除く)

10時頃～14時頃

◆場所／大江町シニアセンター（テルメ柏陵健康温
泉館隣）

◆参加費／1回あたり1,000円(入浴料、昼食代など)
※参加を希望される方は、印鑑をお持ちのうえ、健
康福祉課までお申し込みください。

☎健康福祉課地域包括支援センター

☎(84) 1495

高齢世帯などの雪下ろし・玄関除雪支援について

高齢者や障害者の冬期間の暮らしを守るため、雪下ろしや玄関除雪の支援をおこないます。

◆対象世帯/次の全てに該当する世帯 ①町民で現に居住している世帯、②町民税(所得割)非課税世帯、③高齢者や障害者のみ、または自力で雪下ろしなどができない世帯、④子や親戚などから雪下ろしなどの支援(経済的支援を含む)を受けられない世帯

◆支援内容/住宅の雪下ろし、それに伴う住宅周辺の除排雪、除雪車通過後の玄関の除排雪作業に要した費用の一部を支援

◆支援額/対象経費の9割

※雪下ろしの対象経費は1回25,000円が上限で、3回分までが対象です。

※玄関除雪の対象経費は回数の制限はありませんが、一冬を通して24,000円が上限です。

◆留意事項/①店舗、農作業小屋、倉庫、車庫、他人に貸している住居は支援対象になりません ②雪下ろしなどの依頼は、必要な時期に直接事業者などに依頼してください ③できる限り、子や親戚などの方のご協力をお願いします

◆利用申請/申請書を11月17日(火)までに地域の担当民生児童委員にお届けいただくか、11月20日(金)までに健康福祉課へ提出

※申請書は地域の民生児童委員および役場健康福祉課で準備しています。

☎健康福祉課福祉係 ☎(62)2285



「健康づくり」に関する展示をおこないます

例年、健康づくり講演会を開催していましたが、今年は新型コロナウイルス感染症によるリスクなどを考慮し、健康づくりに関する展示をおこないます。生きがいを持って健康に生活できるヒントとなるように、この機会にぜひご覧ください。

◆期間/11月13日(金)~11月26日(木)

◆場所/中央公民館

◆内容/各種展示コーナー

町の健康・介護・医療に関する現状、健康づくり事業、食生活改善推進協議会、子育て世代包括支援センター、地域包括支援センター、国民健康保険事業などの紹介

☎健康福祉課保健衛生係 ☎(62)2114

山形どまんなか道の駅5麺バトル開催!

◆内容/西村山地域の道の駅など5か所の自慢の麺を食べてスタンプを集め、期間内にお気に入りの店にスタンプシートを提出すると、その麺一杯をプレゼント!

◆日時/11月14日(土)~12月20日(日)の各道の駅などのお食事処の営業時間

◆会場(メニュー)/道の駅おおえ(たっぷりなめこそば)、寒河江(さくらんぼ鳥中華)、にしかわ(きのこ肉そば)、あさひまち(りんご温麺)、べに花温泉ひなの湯(河北肉そば風鍋焼きうどん)

※すべて800円

☎山形どまんなか道の駅連絡会 ☎(86)1818

編集後記

秋も深まり、寒くなってきましたので、体調にお気をつけください。(今野清彦)

広報を担当してから、屋外イベントなどではほとんど雨が降らず、「カメラを持つと晴れ男かな」と一人で思っていました。そんな10月のある日、朝は小雨でしたが会場に着くと曇りに。「やはり」と心の中でつぶやき、カメラを構えた途端に雨が…。翌日は曇りで晴れ間も見える天気。「今日は大丈夫」とカメラを持つ

やまがた森づくり発表会の開催について

◆日時/11月22日(日)11時半~15時半(開会13時から)

◆場所/山形国際交流プラザ山形ビッグウイング2階交流サロン

◆内容/森づくり活動報告、代表発表、講演、やまがた木育体験など

◆対象/森づくり活動に興味のある方

◆申込/申込不要、直接会場にお越しください

☎山形県環境エネルギー部みどり自然課

☎023(630)2206

MADE メイドイン IN おおえ

匠の技から最先端技術まで——モノづくりを担う町内企業と、
そこで働く若い力をご紹介します。



VOL.10 有限会社庄司林業

- ◆住所 大江町大字沢口842-12
- ◆代表者名 代表取締役社長 庄司樹
- ◆沿革 昭和30年 創業
昭和57年 会社設立
- ◆従業員数 16名
- ◆主な業務 国有林・民有林の森林整備事業、育種管理事業など

有限会社庄司林業は、村山地域
全域を営業エリアとして、国有林
森林環境保全整備事業や民有林の
森林整備を主業に、育種管理やナ
ラ枯れ防除のほか、森の木々から
作られたアロマなどの製造販売も
おこなっています。また、平成
31年から始まった森林経営管理
制度の「意欲と能力のある林業経
営者」として、県からの認定を受
けています。庄司樹社長は「従業
員は20代から60代までおり、創
業から60年超の経験値とITや最新
設備を合わせた技術力が当社の強
みです」と語ります。

大阪府出身で入社4年目の山下
大稀さんは、伐採した丸太を積載
し、大型トラックまで運搬する機
械車両（フォワーダ）を操縦して
おり、庄司社長も認める腕前です。
山下さんは「後輩から頼られる存
在になりたいです」と話していま
した。



▲フォワーダを操縦する山下
さん



▲代表取締役社長の庄司さん
(左)と入社4年目の山下
さん(右)

戸籍のまど

9月21日～10月20日大江町受付分

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
市の沢	清野 莉央 ^{りお}	女	崇広・仁美
山崎	松田 大和 ^{やまと}	男	隆・美樹
蛭水	佐藤 澄依 ^{すい}	女	拓郎・菜々

ご結婚おめでとう

区名・出身地名	氏名
(韓国)	李 宰祥
(藤田)	佐藤 有未

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
諏訪原	石沢 徳治	(82)
9区	結城 順子	(82)
深沢	菊地 恒男	(90)
9区	高橋 なみえ	(83)
柳川平	今野 文三	(85)
小見	伊藤 順子	(81)
9区	庄司 よすゑ	(95)
藤田	伊藤 ふじ江	(95)
2区	駒林 清子	(89)
9区	大泉 義孝	(71)



人口と世帯(前月比)

町の人口	7,848人(-11)
男	3,916人(-6)
女	3,932人(-5)
世帯数	2,867戸(+1)

令和2年11月1日現在

※掲載を希望しない場合は、
届け出の際にお申し出ください。